

コアとなる事業の概要3つ（事業のタネ）

活動地域・団体名：石川県七尾市・七尾街づくりセンター株式会社

今後地域の将来像を実現するために必要と考えられる事業を3つ書いてください。

1 事業名称：助っ人deプロジェクト加速させ隊			
事業概要	事業の内容	現時点で想定される課題・ボトルネック	
地域における一番のボトルネックは、人材（プレイヤー）不足である。そのためやりたいことがストップしている状態であることが多い。これまでも移住には力を入れてきたが、移住はハードルが高いため、副業兼業やプロボノ、ボランティアなどあらゆる形で地域と関われる仕組みを構築する。	①なぜこの事業をやるのか（Why）	地域の人材不足を解消するため。	地域内の事業者の事業（プロジェクト）の切り出しとそれに対応する適切な人材のマッチング。
	②どの地域資源を活用するか	地域で行われている様々な事業やプロジェクトなど。特に一次産業や集落。	
	③商品・サービスの具体的な内容は何か（What）	地域の事業者や集落などの組織と必要な人材をマッチングさせる。	
	④誰がこの事業の主たる担い手か（Who）	七尾街づくりセンター	課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像
	⑤この事業により地域内で何が循環するか またはどのような循環が起こるか	都市と地域で人材の循環が加速する。そのことにより地域内のプロジェクトが進行し、環境経済社会への効果を発揮する。	副業兼業、プロボノ、ボランティアなどのマッチングシステムを持っている企業など。

2 事業名称：家ぐるっとリサイクル事業			
事業概要	事業の内容	現時点で想定される課題・ボトルネック	
人口減少による七尾市内の空き家は年々増加しており、その率は20%近いと言われている。その中には良質な古民家も多く、資産が眠っている状態にある。治安や防犯防災の観点からも空き家・空き店舗対策は、必要である。 また地方にとっ、暮らすと働くは一体であり、良質な住居が移住定住の条件にもなることから、「住まいのコンシェルジュ」を配置する。古民家などをシェアハウスや移住体験住宅、民泊などを含め、利用促進することで危険空き家を減少させる人と住まいの循環型社会を目指す。	①なぜこの事業をやるのか（Why）	有休資産の利活用により、移住者呼び込み、地域の安全を確保する。	地域と大家の理解。 空き家の修繕費の負担。
	②どの地域資源を活用するか	古民家などの空き家	
	③商品・サービスの具体的な内容は何か（What）	古民家などの空き家をシェアハウスや民泊などに利活用	
	④誰がこの事業の主たる担い手か（Who）	七尾街づくりセンターと地域づくり協議会	課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像
	⑤この事業により地域内で何が循環するか またはどのような循環が起こるか	有休資産の空き家が、再利用することで危険空き家が減り、かつお金を生むようになる。	自治会や地域づくり協議会。 助成金などを持っている団体やその情報提供してくれる組織。

3 事業名称：チャレンジを応援する「てみるフェス」			
事業概要	事業の内容	現時点で想定される課題・ボトルネック	
新たなチャレンジを応援するてみるフェス。地域を面白くするため、地域内でニュースを作るため、各事業者や組織団体の新しい取り組みを支援する。特に楽しみながら目の前の社会課題にもチャレンジすることで、その連鎖を大きくし、社会的インパクトを出していく。それが循環することで、能登七尾がオモシロイ地域であることの認知を深めていき、関わる人を更に増やしていく仕掛け。	①なぜこの事業をやるのか（Why）	オモシロイ地域にするため	事務局を中心とした実行委員会に関わるメンバーの確保とその費用負担。チャレンジしたい人や組織団体はある程度の目途は立っているが、中間支援（プラットフォーム）として、そのチャレンジを支える人を確保することが難しい。
	②どの地域資源を活用するか	地域の事業者や組織団体	
	③商品・サービスの具体的な内容は何か（What）	新しいチャレンジを応援する仕掛け。特にプロジェクト組成や広報	
	④誰がこの事業の主たる担い手か（Who）	七尾街づくりセンターを中心とした実行委員会	課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像
	⑤この事業により地域内で何が循環するか またはどのような循環が起こるか	新たなチャレンジにより、ニュースになり、関わる人が増える。	地域の事業者と各種団体、有志のボランティアなど。